

Doc.No: NR981130

1998年11月30日

台湾で新テクニカルセンターの操業を開始

大日本スクリーン製造株式会社(本社:京都市上京区/社長:石田明)は、台湾・新竹(シンチュウ)市科学園区隣接地に建設を進めていた新テクニカルセンター兼事務所を完成、1998年11月27日にオープンしました。

このテクニカルセンターは、台湾市場における半導体製造装置の技術サービスを強化するため設備投資額約10億円をかけ今年2月に着工していたもので、当初半導体製造装置専用としていました。しかし、台湾においても世界的な半導体不況の影響を受けデバイスメーカーは設備投資を延期しており、また一方でFPDメーカーが盛んに製造の拠点作りを図りつつあるため、FPD製造装置にも対応したテクニカルセンターおよび技術サービスセンターの役目も担うことになりました。

新テクニカルセンター兼事務所(大日本スクリーン・台湾=Dainippon Screen (Taiwan) Co., Ltd.)は、半導体・FPD製造装置のショールーム、トレーニング室などを設け、顧客へのデモやサービス要員の教育などを行います。建設規模は敷地面積約1,300平方メートル、のべ床面積約2,000平方メートル、RC造3階建。同センターのための従業員数は当初34名(98/10末)。

なお、今回のサービス拠点の強化に引き続き、半導体メーカー各社の将来の設備増強を見込んで、1999年5月を目処にシンガポールでも新規サービス拠点の設立を計画しています。

*Dainippon Screen (Taiwan) Co., Ltd.

1990年に大日本スクリーンの子会社として設立。資本金は2億1,500万NTドル、従業員数50人(98/10末)。設立当初は、印刷・製版産業向け画像処理システムの販売・保守サービスのみを業務。1995年から当社の半導体製造装置のサービスを手掛けている。



台湾テクニカルセンター兼事務所(正面)

この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/photo.html>)